

(社)日本都市計画学会から国際交流賞を受賞

黒川 洗

東京工業大学名誉教授

筑波大学名誉教授

黒川洗氏は、昭和45年に東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、建設省建築研究所に勤務され、その後、筑波大学・東京工業大学において都市計画・交通計画分野に多大なる貢献をされました、とりわけ国際的な活動に数多く参画し、都市交通計画研究および教育に大きな影響を与えてきております。



氏は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の都市交通プロジェクトにおいて主導的な役割を果たされ、総合都市交通計画立案手法の普及に貢献されました。これらの活動を通じて国際的な高等教育レベルの強化のため、1977年フィリピン大学の交通訓練センターとこれに続く国立交通研究所のJICAプロジェクトに参画・推進され、現在まで主導的な役割を果たされました。さらに、アジア交通学会の設立、都市交通計画行政能力向上、都市交通施設整備の充実にも努め、現在のアジア諸国・地域における都市交通計画技術の進歩発展に大きく貢献されました。最近においては、都市地下空間に関する調査・研究機関(ACUUS)において積極的に活動し、各国の行政、研究者との交流を深め、わが国の技術についての知識普及に尽力されております。

また本会を代表して、平成8年に開催されたIFHP世界会議に参画し、「明日の居住」というテーマのもと、世界会議の研究発表・意見交換の活発な討論の場の設置を執り行われました。

以上のように、氏は、国際交流活動での実務実績・海外若手研究者育成などにおいて、これまで多大なる貢献を果たされており、ここに日本都市計画学会国際交流賞を授与するものであります。